

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	平成夏まつり支援事業				担当部	地域活性化営業部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	シティプロモーション			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	にぎわい創出係			
	総合計画 新基本計画	施策等	5 産業・交流		18 シティプロモーション		3 魅力あるイベント・まつりを開催します				
			重点事業		実施計画事業						
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	市民及び観光客								
		どの様な状態にするのか	平成夏まつりの価値を市内外に伝えることにより市民の連帯感や地域に対する誇りを醸成する。								
	内容(手段) 目的達成のため どのような事業 を実施したか	<p>◆27年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画運営は、参加団体等によって構成される実行委員会が主体となって行い、市は補助金の交付などの支援を行っている。また、事務局として各機関との調整・準備・経費の支払いなどを行った。(市制60周年記念事業) <p>※第27回平成夏まつり内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 小牧の中心街を行灯山車(ねぶた山車)がパフォーマンス(ハネ踊りやよさこい)や太鼓演奏とともに練り歩いた。 一般公募を含む審査員やインターネット投票による、優秀な山車・パフォーマンスの審査 手筒花火を中心とした打ち上げ花火と和太鼓、レーザ演出の競演によるフィナーレの実施 両日のオープニングイベントとして、計7参加団体による踊りや楽器演奏などのオープニングパフォーマンスを実施した。 小牧市制60周年を記念し、小牧平成夏まつりに20回以上参加してきた6団体を対象に「市制60周年記念団体表彰」を実施した。 <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成夏まつり補助金 18,000千円、その他 564千円 <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成夏まつり補助金 18,500千円、その他 655千円 									
受益者負担	無										

			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	21,534	18,560	18,564
正職員			従事者数	人	0.85	0.85	0.85	1.20
			人件費	千円	4,675	4,675	4,675	6,601
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計			千円	26,209	23,235	23,239	25,756	
対前年比		%		88.6	100.0	110.8		
財源	一般財源		千円	26,209	23,235	23,239	25,756	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	参加団体数	団体	目標	23	23	23
実績				20	18	22	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	来場者数	団体	目標	95,000	95,000	95,000	95,000
実績			95,000	92,000	93,000		
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	県内では珍しい行灯山車やねぶた踊りなどによる平成夏まつりを開催した。2日間で、9万人を越える来場者があり、盛大に行われた。参加団体、来場者数は目標を達成できなかったが、参加団体は、前年度より4団体増え、まつりを盛り上げた。				
		事業実施における課題	参加団体、来場者の増加に向け、実施主体である実行委員会において、より魅力あるイベントを行うという目的の共有を図り、目標の達成に向けた議論を活発化するよう、事務局として支援する必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	小牧平成夏まつりは、平成元年から友好都市である八雲町の山車行列を参考に始められ、今では、参加団体22、来場者9万人を越える夏に行われる市内最大級のイベントとなっている。市民の楽しみのある場であると同時に地域間コミュニケーションにも大きな役割を果たしている。以上より、事業を縮小・廃止した時の影響は大きいと考える。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	平成夏まつりのメインである山車のクオリティの向上という目標を参加団体全体で共有化し、今まで以上にまつりを盛り上げ、また、より魅力的な山車の制作、ノウハウの提供を行うため、事務局として支援していく。 当まつりの認知度をさらに向上させるため、小牧市公式フェイスブック等に掲載するなど、情報発信を積極的に行う。 1～2年以内に旧桃花台線の駅舎等撤去工事により、小牧駅前広場が4～5年間使用できなくなるので、実行委員会と協議し、コースの見直し等を検討する。				
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	山車の制作やパフォーマンスの練習を通じ、地域交流の場となっている。28年という歴史があり、小牧の特色あるイベントとして市民に定着しつつある。小牧市に対する愛着や誇りを高めることに寄与しており、今後も継続すべきであるため。					
	29年度以降の改善案	1～2年以内に旧桃花台線の駅舎等撤去工事により、小牧駅前広場が4～5年間使用できなくなるので、実行委員会と協議し、コースの見直しを図り、関係機関、市民等に周知する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。